



ヘッドホンを耳にかけ、ギターを弾く雨宮奈々美さん  
|| いずれも東京都内  
カルロス・ケーさん  
(左)と曲をつくる  
雨宮奈々美さん

U-18  
ボカ  
& ダ  
ス  
選手権



## 雨宮さん(中央高)今春配信デビュー

「U-18ボーカル&ダンス選手権2022」(山梨日日新聞社・山梨放送主催、第一興商山梨支店協力)のボーカル部門でグランプリを受賞した雨宮奈々美さん(中央高)が今春、シンガー・ソングライター雨宮<sup>ななみ</sup>凧波として配信デビューすることが決まった。選手権で審査員を務めた北杜市出身の作曲家Carlos K. (カルロス・ケー)さんの協力を得て、山梨日日新聞社が発行する高校生向けの総合情報誌「KANAU (かなう)」のテーマソングを制作。近く、配信リリースされる。

楽曲名は「<sup>かな</sup>う」。音楽の道に進むため進学校を退学し、通信制高校に入り直した自身の経験を踏まえ、夢に向かって突き進む同世代の等身大の姿を投影させた。

昨年12月上旬からオンラインで打ち合わせを行い、下旬には東京都内のカルロスさんの元を訪れて曲を制作。雨宮さんは「あまり得意としない」というアップテンポの曲に苦勞しながらメロディーの原型を生み出し、カルロスさんが輪郭を整えた。カルロスさんのスタジオでレコーディングし、アレンジを加えて曲は完成した。

楽曲の一部は、レコーディング風景の映像と共に「KANAU」のウェブサイトで見聴可能。夢を一つかなえることになった雨宮さんは「今回の経験を糧に曲を書き続けていきたい」と話している。

雨宮さんは昨年、同選手権のボーカル部門に初参加し、ギターを弾き語り「ハート」(あいみょん)を歌唱。見事グランプリを獲得し、審査員から「歌を伝えようとする力強い声質が非常に良い。歌詞に応じて声の表情を変え、歌の起承転結にも引き込まれた。内面をさらけ出すオリジナル曲を聞いてみたい」と高い評価を得ていた。

〈清水悠希〉

夢へ一直線  
思いを歌に